

平成28年 第1回 学校協議会 【議事録】

平成28年6月27日

10:00～11:30

[場 所]: 茨木支援学校 校長室

[出席者]: 校長 准校長 教頭(2名) 事務長 首席(4名) 部主事(3名) 指導教諭
教務部長 協議会委員(6名)

はじめに

校長・准校長紹介、あいさつ

① 会長挨拶

支援学校において重度の障がいのある児童生徒が増えている。ちょっとしたことでも保護者にとっては大きなことであるにとらえて教育を進めてほしい。学校を離れた立場からの視点で協力していきたいと思っている。忌憚のないご意見を出していただきたい。

② 協議会委員紹介

③ 報告及び協議 (※●は協議会委員からの意見、提言等 Qは質問 Aは学校の回答)

*協議会意見書箱について

<「保護者の通学バス同乗についての要望」への対応について>

- ・学校協議会へ、保護者の通学バス同乗の要望があった。協議会会長に相談の上、本日の議題とした。
- ・宿泊学習・校外学習などにおいて、学習保障の観点から、訪問生や医療的ケアを必要とする児童生徒の保護者付き添いの際の通学バス同乗を認めてほしいとの要望。

[委員より]

- 医療的ケアを必要とする児童生徒は、保護者付き添いでの入学を認めているので、バスの同乗も認めるべきである。
- 皆が何とかしたいが難しい部分がある。しかし、長距離の移動の場合、保護者の負担は大きくなると思う。現場からは粘り強く訴えてほしい。
- 行事に行ける人・行けない人がいる状況は、保護者は納得し難い。府の予算の事情は分かるが、皆が同様に行事に参加できるよう要望してほしい。
- 行事で宿泊することの重要性を考え直してほしい。
- 当事者は困っているが、借り上げバス等の方法をとる際は費用が多くかかり、それを他の児童生徒が費用負担するのも難しい。そういう方法ではなくて制度的に改善を求めてほしい。
- 学校は間に立っている状況だが、現場では困っていることを委員会に繰り返し伝えてほしい。その間も行事は実施されるので、先生方の創意工夫をもって進めてほしい。

<平成 27 年度 学校経営計画について>

[学校長より]

- ・今年度の変更点に絞って説明する。
- ・校内環境の整備として、防災を中心に安心安全な学校づくりを進め、外部に学校を知っていただくことを進めていく。
- ・具体的な取り組みとして、ヒヤリハットの意義を再確認し、報告の数を増やしていく。
- ・自立活動で楽スタ、iPad・カメラ・スヌーズレンの活用、ロコモーターの導入、新スポーツ（ハンドサッカーやボッチャ）を授業に取り入れるなどを行っていく。ボッチャについては、全国大会のお誘いもあり、積極的に参加を検討したい。

[准校長より]

- ・高等部は新教育課程を実施して2年になり、新教育課程の生徒が現3年生になっている。今後も継続して教育課程の改善を進めていく。
- ・生徒の卒後の社会自立を旨とした教育課程を進めていく。喫茶サービス等の取り組みも充実を旨として行なっている。

[委員より]

- ボッチャについて、追手門大学で講習会が実施された。全国大会への参加は素晴らしいこと。地域でも活動を行なっていけばいいと思う。
- 就労についても、地域として実習など協力していきたいと思っている。
- 地域には多種多様な人材がいる。そういった人材を大事にしていけないといけない。

<授業評価実施予定について>

[教頭より]

- ・概要は別紙
- ・前年度の学校協議会にてご意見をいただき、回収率を上げることを目標として、授業評価のための授業参観期間を増やし、アンケート内容についても、自由記述欄を設けるといった改善を図った。

Q. 授業評価のための授業参観について、保護者に対して PR は昨年同様にされたのか。

A. 例年通り、実施2週間前に保護者宛にお知らせのプリントを配布している。

- アンケートに積極的な保護者は少ないように思う。授業参観に来てアンケートは出さなくてもよいと思っている保護者が多いのではないかと思う。
- 保護者の意識が薄いように思う。
- 封筒に入れて提出するというのも抵抗感があるのではないか。
- まだ年度の途中で、2学期にも授業参観が実施されるので、次回の学校協議会にて報告をお願いしたい。
- 授業評価の実施のための授業参観は教員にとっても一定の緊張感を持つことができる大切な機会だと思う。
- 自由記述の欄もあるということだが、書きやすいアンケートにしてほしい。

[教頭より]

- ・保護者の授業参観への出席の際の出席表へのチェックについては、増えている。
- ・自由記述の記入の数も増えているので、多くの保護者の意見が拾えたらよいと思う。

- ・2学期については授業参観週間を2週間実施する。

<本年度の使用教科書について>

【教務部長より】

- ・使用教科書一覧（別添資料）は、本年度使用分の一部を抜粋したものである。
- ・子どもの実態に応じて一般図書を選定している。
- ・実際の教科書の見本を用意しているので、ご意見をいただきたい。

Q.聴覚に障がいがあり、点字などが必要な場合、専門の学校（聴覚支援学校）に行くのか。

A.障がいについては多様化してきている。様々な学校が、各学校で多様な障がいに対応するようになってきている。

- 教科書は学校におかれているが、どんな教科書を使用しているか知りたい保護者もいる。
4月に一度、教科書を家に持ち帰るようにすると、どんな教科書を使っているのか保護者もよく分かるし、保護者の授業に対する意識もかわると思う。
- 教科書とはいったいどんなものか、保護者にも知らせていくことが大事である。

④ 諸連絡

第2回学校協議会の日程について